

分子標的医学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Sonoda Y, Sasaki Y, Gunji A, Shirai H, Araki T, Imamichi S, Onodera T, Ryden A, Watanabe M, Itami J, Honda T, Ashizawa K, Nakao K, Masutani M: Reduced Tumorigenicity of Mouse ES Cells and the Augmented Anti-Tumor Therapeutic Effects under Parg Deficiency. *Cancers* 12(4): 1056, 2020. doi: 10.3390/cancers12041056. (IF: 6.639)
2. Nozaki T, Nakamoto K, Myat AB, Sasaki Y, Imamichi S, Onodera T, Masutani M: Effects of 3-aminobenzamide on cell cycle arrest after gamma-irradiation.. *J Trans Sci* 6: 1-6, 2020.

A-e-1

1. Sasaki Y, Onodera T, Matsuno K, Takamura T, Inoue K, Shimoyama T, Koizumi F, Masutani M: Analysis of cell death mechanism by treatment of a novel compound MO2455 that induces accumulation of poly (ADP-ribose) in cancer cells.. The PARP Family and ADP-ribosylation CSHL Meeting Abstracts : 2020.
2. Onodera T, Sasaki Y, Matsuno K, Takamura T, Koizumi F, Masutani M: Analysis of action by poly(ADP-ribose) accumulating agent MO2455 in B cell lymphoma.. The PARP Family and ADP-ribosylation CSHL Meeting Abstracts : 2020.

A-e-2

1. Imamichi S, Chen L, Toriya N, Takahira A, Mitsuhashi Y, Onodera T, Sasaki Y, Ihara M, Sanada Y, Masunaga S, Masutani M: Analysis of the response of tumor tissue and cells to BNCT.. *KURNS Progress Report* 2020 : 71, 2020.

B 邦文

B-a

1. 井垣 浩, 中村 哲志, 今道 祥二, 栗原 宏明, 柏原 大朗, 稲葉 浩二, 飯島 康太郎, 中山 広貴, 竹森 望弘, 高橋 加奈, 大熊 加恵, 村上 直也, 西岡 史絵, 岡本 裕之, 益谷 美都子, 伊丹 純: 泌尿器悪性腫瘍に対するホウ素中性子捕捉療法 (BNCT)の可能性. *泌尿器科* 11(4): 459-465, 2020.
2. 中村 哲志, 井垣 浩, 柏原 大朗, 益谷 美都子, 伊丹 純: 国立がん研究センター中央病院の加速器BNCTシステム. *Rad Fan* 18(14): 51-54, 2020.

B-e-1

1. CHEN Lichao, CHEN Lichao, 今道祥二, TONG Ying, 佐々木由香, 小野寺貴恵, 増永慎一郎, 益谷美都子: 中性子捕捉療法 (BNCT)に対する腫瘍細胞応答におけるGM-CSFと炎症/免疫カスケードの役割. *日本癌学会学術総会抄録集(Web)* 79th: 2020年10月.
2. 今道祥二, 今道祥二, 今道祥二, 今道祥二, CHEN Lichao, YING Tong, 佐々木由香, 佐々木由香, 小野寺貴恵, 小野寺貴恵, 鈴木実, 増永慎一郎, 益谷美都子, 益谷美都子: BNCTによるがん細胞から放出されるHMGB1の亢進とその放射線応答としての機能. *日本癌学会学術総会抄録集(Web)* 79th: 2020年10月.
3. 佐々木由香 小野寺貴恵 高村岳樹 小泉史明 益谷美都子: がん細胞においてポリ(ADP-リボース)の集積を誘導する新規化合物MO2455による細胞死誘導機序の解析. *日本癌学会学術総会抄録集(Web)* 79th: 2020年10月.
4. 園田 悠紀, 佐々木 由香, 荒木 智徳, 今道 祥二, 小野寺 貴恵, 渡邊 昌俊, 中尾 一彦, 益谷 美都子: Parg欠損は、マウスES細胞の腫瘍形成性の低下と抗腫瘍治療効果の増大を示す. *日本癌学会学術総会抄録集(Web)* 79th: 2020年10月.
5. 荒木 智徳, 佐々木 由香, 小野寺 貴恵, 中尾 一彦, 益谷 美都子: PARP阻害剤のエピジェネティック制御への効果. *日本癌学会学術総会抄録集(Web)* 79th: 2020年10月.
6. 大石 敬之, 佐々木 由香, Tong Ying, Lichao Chen, 小野寺 貴恵, 岩佐 悟, 有働 恵美子, 古里 文吾, 中尾 一彦, 山田 康秀, 平岡 伸介, 益谷 美都子: シスプラチン耐性のバイオマーカー候補ERCC1の過剰発現の検出可能なモノクローナル抗体についての解析. *日本癌学会学術総会抄録集(Web)* 79th: 2020年10月.
7. 小野寺 貴恵, 佐々木 由香, 小泉 史明, 高村 岳樹, 益谷 美都子: B細胞リンパ腫における抗癌剤候補化合物MO2455による細胞死機構解析. *日本癌学会学術総会抄録集(Web)* 79th: 2020年10月.
8. 井角麻佑, 藤原久子, 野崎中成, 中本恵太郎, 佐々木由香, 小野寺貴恵, 益谷美都子: Parg-1欠損下での肝臓における異所性骨形成及び骨髄形成の増加. *日本生化学会大会プログラム・講演要旨集*: 2020年9月.

9. 益谷美都子: モノ/ポリADP-リボシル化経路による多様な生体制御 ポリADP-リボシル化とモノADP-リボシル化の経路. 日本生化学会大会プログラム・講演要旨集: 2020年9月.
10. 佐々木由香, 小野寺貴恵, 松野研司, 高村岳樹, 小泉史明, 益谷美都子: B16細胞におけるポリ(ADP-リボース)集積化合物MO2455による細胞死誘導機序の解析. 日本生化学会大会プログラム・講演要旨集: 2020年9月.
11. 小野寺貴恵, 佐々木由香, 姫野 佳歩, 松野研司, 高村岳樹, 小泉史明, 益谷美都子: PAR集積効果を有する化合物MO2455のB細胞リンパ腫に対する作用の解析. 日本生化学会大会プログラム・講演要旨集: 2020年9月.
12. Ying Tong, Yuka Sasaki, Lichao Chen, Takayuki Oishi, Takae Onodera, Mitsuko Masutani: Differential analysis of isoform expression of ERCC1 in cancer cells . 日本生化学会大会プログラム・講演要旨集: 2020年9月.
13. 益谷美都子, 佐々木 由香, 小野寺 貴恵, 芦澤 和人, 小泉 史明: 空間を超えて原発を探るバイオマーカー 合成致死性抗がん剤標的とバイオマーカー. 日本分子腫瘍マーカー研究会プログラム・講演抄録集 40回: 2020年9月.
14. 小野寺貴恵, 小野寺貴恵, 菊原颯太, 菊原颯太, CHEN Lichao, TONG Ying, 佐々木由香, 今道祥二, 村上康文, 益谷美都子: 放射線増感標的候補としてのAPOBEC3G. 日本分子生物学会年会プログラム・要旨集(Web) 43rd: 2020年12月.
15. TONG Ying, 今道祥二, 今道祥二, 今道祥二, CHEN Lichao, 小野寺貴恵, 佐々木由香, 真田悠生, 鈴木実, 増永慎一郎, 益谷美都子: γ 線およびBPA存在下での中性子線照射後のHMGB1遺伝子の転写プロファイル. 日本分子生物学会年会プログラム・要旨集(Web) 43rd: 2020年12月.
16. 佐々木由香, 小野寺貴恵, 松野研司, 高村岳樹, 小泉史明, 小泉史明, 益谷美都子: 胃がん細胞NCI-N87細胞におけるポリ(ADP-リボース)代謝を作用点とする化合物MO2455による細胞死誘導機序の解析. 日本分子生物学会年会プログラム・要旨集(Web) 43rd: 2020年12月.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
1	1	3	3	0	13

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
益谷美都子・教授	評議員	日本癌学会
益谷美都子・教授	幹事	日本中性子捕捉療法学会
益谷美都子・教授	世話人	分子病理学研究会
益谷美都子・教授	多地点合同メディカル・カンファレンスプログラム委員	国立研究開発法人 国立がん研究センター
益谷美都子・教授	Editorial Board Member	Cells

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
小野寺（山内）貴恵・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費補助金(基盤研究(C))「APOBEC3Gを分子標的とする新たな放射線増感剤の開発研究」
今道祥二・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 若手研究「ポリマーゲル線量計と生物学的評価手法の組み合わせによる線量評価法の探索」
益谷美都子・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「BNCTにおける治療局所・全身性応答と治療奏効性、副作用のバイオマーカーの同定」
益谷美都子・教授	日本医療研究開発機構(革新的がん医療実用化研究事業)	分担	進行小児固形腫瘍に対するオラパリブを用いた治療法開発

益谷美都子・教授	国立国際医療研究センター開発費	分担	胃癌の検体を用いたDNA修復能解析による抗がん剤治療の最適化
益谷美都子・教授	長崎大学第三期中期目標・中期計画における重点研究課題	分担	個別がん医療のトランスレーショナル・リサーチ実践を目指した基盤構築
益谷美都子・教授	株式会社CICS	中性子捕捉療法の生物学的基礎研究	
益谷美都子・教授	佐賀県医療センター好生館、九州プロサーチ有限責任事業組合	血中progastrin濃度を用いた各種悪性腫瘍の診断	

特許

氏名・職	特許権名称	出願年月日	取得年月日	番号
益谷美都子・教授	新規抗がん薬	2017年5月4日	2020年9月14日	特許第6777904号
益谷美都子・教授	ポリフェノール化合物	2013年2月12日	2017年3月16日	特許第6120311号
益谷美都子・教授	肝臓における異所性骨及び／または骨髄の形成誘導方法	2002年8月1日	2009年1月23日	特許4247342号
小野寺（山内）貴恵・助教	機能性分子素子	2004年2月10日	2011年2月4日	特許第4676704号
小野寺（山内）貴恵・助教	面積変調素子	2004年3月12日	2009年7月24日	特許第4347095号
今道祥二・助教	DNA依存性プロテインキナーゼ活性の測定方法、被検細胞の放射線感受性の判定方法、被検細胞の癌罹患性の判定方法、DNA依存性プロテインキナーゼの阻害剤又は活性化剤のスクリーニング方法、及びキット	2014年6月30日	2016年1月21日	特開2016-010377

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
益谷美都子・教授	BNCT講習会	ホウ素中性子捕捉療法（BNCT）推進協議会

特筆すべき事項

1. 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 革新的ながい治療・予防研究ユニットリーダー、2017年10月からの国立がん研究センターとの連携講座包括的腫瘍学分野の運営に関わった（益谷）。
2. 国立がんセンター研究所において特任分野長として研究活動を行った（益谷）。
3. 今道祥二、2020-2021年度 京都大学複合原子力科学研究所とのクロスアポイントメント制度に基づき特定助教として勤務、研究内容「ホウ素中性子捕捉療法（BNCT）に関連した細胞・動物影響評価の共同研究と、BNCTの線量評価最適化を目的とする研究開発」